

平成30年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

| | |
|-------|-----------------------|
| 講 座 | 国際比較経済、経営学、会計学 |
| プログラム | 東アジア中核人材育成、会計・財務専門職育成 |
| 専門科目 | 会計学 |

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。なお、問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 会計上の「のれん」について、下記の間に答えなさい。

- (1) 「のれん」の会計的意義について説明しなさい。
- (2) 「のれん」が認識されるケースを2つ挙げ、その計算手続について説明しなさい。また、「のれん」の期末における会計処理方法について説明しなさい。
- (3) 「のれん」の会計処理を巡っては、償却説と非償却説の2つの考え方があるが、それぞれの考え方の根拠を説明しなさい。

問2 連結情報としての「セグメント情報」について、下記の間に答えなさい。

- (1) 「セグメント情報」の種類及び開示の意義について説明しなさい。
- (2) 「セグメント情報」の開示についてはマネジメント・アプローチの考え方が採用されているが、マネジメント・アプローチとは、どのような手法であるか説明しなさい。また、マネジメント・アプローチの長所及び短所について説明しなさい。

以上